

大阪産業創造館ネットモニター調査 -No.40 '15年11月期-

(ご協力いただいたモニター数: 149社、調査時期: 2015年12月11日~20日)

公益財団法人 大阪市都市型産業振興センター 経済調査室
12/22 <http://www.sansokan.jp/tyousa/> tel:06-6264-9816

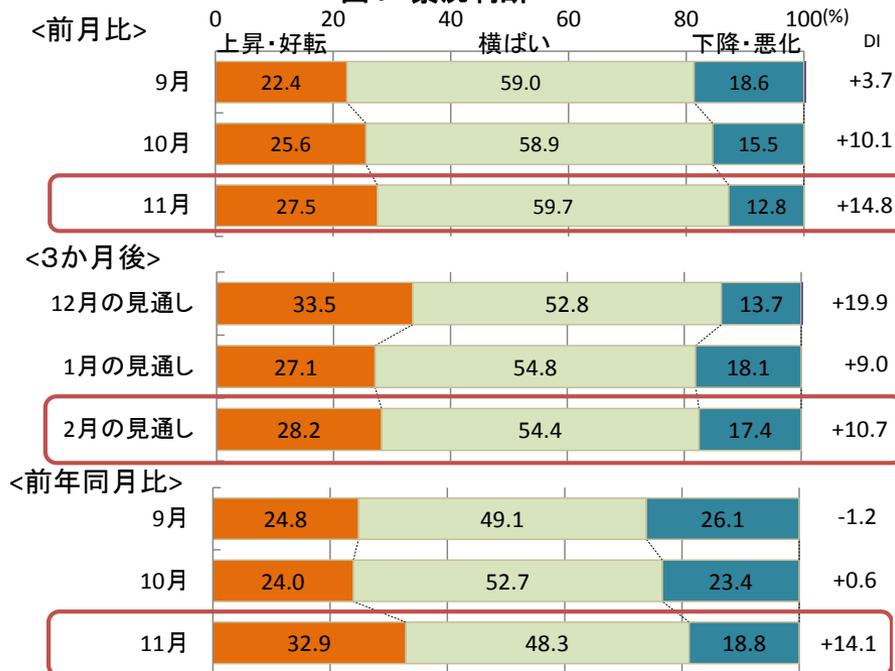
《11月の景況判断に関する要点》(図1, 図2)

「着実な回復基調が持続し、力強さを取り戻す動き」

- ・**11月の景況(前月比)**をみると、「上昇・好転」とする回答の割合は1.9ポイント増加、「下降・悪化」は2.7ポイント減少し、**DIは4.7ポイント上昇し14.8**。製造業は13.7ポイント下降し6.9、非製造業は16.0ポイント上昇し19.8(図なし)。
- ・[上昇・好転]した主な理由は、「内需が増大したから」が約1割増加して5割強で最多、次いで、「時期的、季節的な要因」は2割弱減少して3割台半ば。[下降・悪化]した理由は、「内需が減少したから」が1割強増加して5割強で最多、「時期的、季節的な要因で」は減少して3割台半ば。また、前月には1割未満だった「輸出が減少したから」が1割台半ばに増加(図2)。
- ・**3か月後(2015年2月)の見通し**は、今月(11月)と比べて「上昇・好転」は微増、「下降・悪化」も増加するも**DIは+10.7**とプラス水準を維持し、**順調な回復が続く見通し**。
- ・**11月の前年同月比**は、前年同月に急激に円安に振れた影響で景気減速となった反動もあって、「上昇・好転」が増加、「下降・悪化」が減少し、**DIは13.5ポイント上昇し+14.1**。今月は業種を問わず上昇し、特に非製造業で大幅に上昇。

⇒今月は特設項目はございません

図1 景況判断



* DI(Diffusion Index)は、「上昇・好転」の割合から、「下降・悪化」の割合を引いた数字。景気動向を表す指標のひとつ。

図2 上昇・好転/下降・悪化要因

